

「開業するって、大変だよ… (汗)」

産婦人科ゆいクリニック 島袋忠雄 (9期生)

2011年11月1日に沖縄市登川に「産婦人科ゆいクリニック」を開業致しました。「小児科医」の島袋忠雄と申します。「小児科医なのに産婦人科で開業!？」と思われるでしょうが、院長は同期で産婦人科医の妻(島袋史)で、私は事務長兼小児科医として働いています。開業の言い出しっぺは妻で、私を含めた家族の大反対を押し切って(笑)開業してしまいました。この辺の経緯は、長くなりますので割愛させていただきます。ゆいクリニックでは小児科の一般外来は行っていないため、私は「事務長」職をメインとし、「小児科医」としては新生児や乳児の健診、予防接種のみを行っています。

開業にあたっては約3年の準備期間を要しました。2008年8月に実家に近いという条件に合致した255坪の土地を購入。3か月後には設計事務所も決まりましたが、設計には時間をかけた方がよいとアドバイスを頂き、何度も何度も検討を重ね、県外も含めて多くの施設を見学してきました。特に診療所部分は、「病院らしくなく家のように落ち着ける空間」にするために自然素材にこだわりました。約2年の設計期間を経て2010年9月に着工。その後も1～2週間毎の工程会議に毎回参加し、細かい部分の検討も重ねました。そして、2011年10月に3階を自宅とする自宅兼診療所が完成しました。時間は大変かかりましたが、その分とても素敵な空間を創ることが出来たと満足しています。

「開業する前は金に悩み、開業してからは人に悩

む」…誰が言った言葉か知りませんが、本当にその通りだと思います。「経営」の「け」の字も知らない勤務医がいきなり「経営者」になるって、本当に大変なことです。開業するとももちろん「お金の管理」も大切ですが、やはり「人(従業員)の管理」が最も難儀な仕事だとつくづく感じます。事務長として、ホント毎日疲れます…(涙)。建物作りには多くの時間や労力を費やしてきましたが、自らを「経営者」にする勉強は、正直言ってあまりしてきませんでした。今思うともっと「マネジメントとは？」ということを真剣に勉強して突き詰めるべきだったと後悔するばかりです。医師として、そして経営者として成功されている諸先輩方、本当に尊敬します!自分ももっともっと修行しなければ、と強く感じる今日この頃です。(もう1年も経つというのに…)

ゆいクリニックは、病床数5床の小さなクリニックで、「病院らしくないクリニック、お家のように安らげるクリニック」をモットーに、「生まれてからもずっと結ばれていたいという母と子の想いに応えることが出来るような祝福に満ちた場を創りたい」という妻の熱い想いから生まれました。開業から約1年、100名を超える新しい命の誕生をこの場で迎えることができたことを大変嬉しく思っています。これからも多くの祝福に満ちあふれた場所にするべく、院長やスタッフとともに力を合わせて頑張っていきたいと思えます。よろしくお願い申し上げます。

